

さわかぜ

sanwa chiku-syakyo

編集: 三和地区社協地域づくり部
発行責任者: 三和地区社会福祉協議会
会長 泉水 房治
事務局: 三和保健福祉センター内
(サンハート内)
電話: 0436-37-7100

2019年度

三和地区社協方針固まる

三和地区社会福祉協議会/会長 泉水 房治 氏に聞く！

5月25日、19年度の三和地区社会福祉協議会理事会が三和保健福祉センターにて開催されました。三和地区各団体から選出された54名の理事出席の下、18年度の事業総括と共に新年度の活動方針が議論に付され、19年度予算審議と併せ、向こう1年間の活動方針が全会一致で可決されました。

そこで今回 泉水会長に地区社協の今後の取組みについてインタビューを試みました。

社協発足の経緯踏まえ

みんながつながる三和を目指す

渡邊 地域にお住まいのみなさんからは、社会福祉協議会そのものが何なのか、どんなことをしているのか、よく知らないの声を耳にします。まず、その点についてお聞かせ下さい。

泉水 簡単に申し上げれば、地域の福祉政策を推進する組織と言えます。行政の課題かと思うのが一般的ではないでしょうか。

渡邊 私たち三和地区社協の今年度の取組みについてお聞かせ下さい。

泉水 三和地区では「みんながつながる、支え合

その後、昭和58年の同法改正により、社協は、社会福祉事業推進の中核機関と位置付けられます。さらに、平成2年の法改正で、社協は在宅福祉サ

1. ビス事業実施機関となります。また、平成12年には社会福祉事業法は、その名称が社会福祉法と改められ、市町村社協は地域福祉を推進する団体へと位置付けられたのです。

泉水 県内では市町単位になりますが、現在54社協が構成され、市原市内では11社協が活動しています。

のでしょうか？
泉水 地区社協内に7部会を設置し、具体的な取組みを分担しながら進めます。部会員は、それぞれの団体を代表する理事の皆さんですが、地域福祉の最少単位は、域内の町会のみならず、現在、各小域ネットワークに属する町会長のみなさまと地区社協の相互連携・協力が地域福祉を充実させる上での要となります。

各町会との連携を要に

い、助け合う三和をつくることを基本理念として、①地域づくり②生活支援③安心・安全④連携・基盤づくりに取り組んでまいります。

渡邊 地域住民の期待に応える実りある取組みをお願い致します。

【取組み方策、活動・事業】

- ①高齢者、障害者、子育て家庭のふれあいの場、仲間づくりとなる場づくり（ふれあいサロン事業）
- ②高齢者の日常的な見守り活動の推進（安心生活見守り支援事業）
- ③高齢者のコミュニケーションの場づくり（通いの場事業）
- ④広報活動を通じた地域の活性化促進（タイムリーな情報伝達と啓蒙啓発事業）
- ⑤交流の場、支え合い・助け合い活動の推進（地域福祉支援事業）
- ⑥たすけあい運動の推進（福祉バザー・たすけあい募金事業）
- ⑦地域に於けるあいさつ運動の推進

- ①身近な相談窓口の設置・充実（相談支援事業）
- ②住民参加型在宅福祉サービスの推進（日常生活支援事業）
- ③地域包括ケアシステム構築への環境整備（高齢者地域支え合い事業）
- ④町内会での共助体制の仕組みづくり

- ①地域住民の緊急時対応体制の構築（緊急時連絡カードの配布、更新）
- ②子供の安全・安心を守る活動の推進（登下校時の見守り、挨拶・声掛け活動）
- ③地域の安全を守る活動の推進（危険箇所点検と改善、防犯パトロール）
- ④災害時の助け合い活動の意識啓発、災害に強い地域づくり（災害支援ボランティア事業）

- ①地域の特性に即した福祉活動推進のための地区行動計画の具現化（地域行動計画の策定促進）
- ②小域・中域福祉圏域の連携・協働体制の強化（連携・協働体制づくり事業）
- ③地域を支える担い手の発掘・育成（人材育成事業・福祉教育推進事業・地域講演会の開催）
- ④活動財源確保に向けた取り組みの強化（賛助会員の拡充など）

【基本目標】

①地域づくり

向こう三軒両隣で支え合う地域づくり

②生活支援

みんなが自由に楽しく暮らせる地域づくり

③安心・安全

みんなが安心・安全に暮らせる地域づくり

④連携・基盤づくり

みんなの顔がつながる取組みの為に連携と基盤づくり

【基本理念】

みんながつながる、支え合い・助け合う三和をつくらう



会長インタビューに臨む
渡邊 恵子 編集委員

回顧録

私は平成16年3月末日を以て、警視庁警察官を定年退職した。42年間の勤めであった。人は時として自らの人生を振り返るときがある。職業人としての生きざまには、一点の悔いもない。反面、家庭や地域における自分を想うとき、その感慨の無さに気づく。本当に家内には苦勞をかけた。

の家に突然倒れた。重篤な病だった。幸い、警察病院への入院と脳外科最期をとりとめ、術後の後遺症の発症もなく無事健康を回復する事が出来た。そのときばかりは、神への感謝の気持ちが溢れた。私は仕事を通じ、沢山の仲間や友人に恵まれてきた。人との絆がすべての行動の規範であるとの思いから、今後の生き方

谷 光彦

シリーズ④
＜最終回＞

市原市小域福祉ネットワーク代表
市原市社会福祉協議会理事
三和地区社会福祉協議会理事

として地域社会へ奉仕するボランティアの道を選んだ。平成17年頃より居住する福増町会での地域活動に取組み、基盤となる町会規約の整備を進めながら、町内の環境美化を柱として地域づくりと、人と人とのふれあいを大切にする明るい町づくり地域の方々との力を合わせて取り組んできた。町会役員以降は、平成21年より、三和コミュニティセンターの会長職、平成29年より同センターの理事長を務め、現在、市社協理事、市小域福祉ネットワーク連絡会代表、

まえ合い
くらゐの中に育ちよう
森、森のこのころで
咲かせよう居場所の花を
揺るがせやいけなう今だから
谷 光彦

地区社協理事、地区社協小域福祉ネットワーク部長と肩書ばかりが並ぶが地域社会に奉仕するとの初心は何ら変わるところはない。
平成28年4月、大変

『たすけあい三和』

三和地区社協 たすけあい事業部 お役に たちまっせ!

現場は、光風台3丁目森さん宅。作業内容は、敷地内除草とエアコンのフィルター清掃。
この日、作業を担当されたのは、進藤誠さん、岸田明博さん、入野武進さんの3名。
晴天に恵まれた屋外で

は、額に汗が滲む。
午前9時にスタートした作業は、3時間ほどで終了した。(写真参照)
◇依頼主の森さんへもお話を伺った。
Qこの制度を利用するのは初めてですか？
Aいいえ、3年ほど前から

ら年に2回ほどお世話になっていました。
Q利用のきっかけは？
A地区民生委員の花澤さんにこの制度を紹介して戴きました。以前は、植木屋さんをお願いしたりしていましたが、本当に助かっています。



作業前

森さん宅前庭

作業後



5月30日、たすけあい事業部の現地作業取材した。目的は三和地区内のみならず、この取り組みを紹介し、より多くの方々に利用の機会を広げたいの思いからだ。「取材、さわかせ編集委員 川上 保」

☎ 070-5452-8333

地区社協「たすけあい三和」

受付：月・水・金(祝祭日除く)

受付時間：9:00～14:30

◇ご利用できる方◇
・ひとり暮らしの高齢者(65歳以上)
・高齢者のみの世帯
・障害者のみの世帯

◇ご利用料金◇・始めの1時間まで800円・1時間超過後30分ごとに400円加算・その他実費・事前にお見積り致します。
◇活動内容◇・除草や庭木の刈込・屋内清掃や照明交換・家事支援/掃除、洗濯、炊事、その他、ご相談に応じます。

ご利用は電話で
お気軽に!

コーディネーター募集中

たすけあい事業部では、コーディネーターを募集中です。コーディネーターとは依頼者と作業部隊をマッチングする役目です。具体的には作業内容、現地状況の確認、

見積作成などを通じ、依頼者の希望に即した作業を計画する役割です。あなたの力を貸し下さい。ご連絡お待ちしております。



ローカル
フラッシュ



寄稿

さわかせに寄せて
新堀町会 鶴岡 康一



【鶴岡 康一さん】

こへでも。全日本スキー連盟公認名譽検定員、同指導員。時に良寛詩を吟じ(クラン吟詠全国大会出場)、時に禅画(個展2回・嵩山少林寺より禅僧名拝受)の一筆を握る。お呼びがあれば鎌や鍬をマイクに替えて吟詠のひとコマ。禅画教室開催。大道無門、若き日に道を求めよ。老いて豊かになる。

